

令和7年度 第3回 仙台市中央卸売市場再整備検討委員会  
議事録

日時 : 令和8年2月5日(木) 9時00分~10時00分

場所 : 仙台市中央卸売市場管理棟3階大会議室

参加者 : 西川委員長 岩沼副委員長 本田委員 大沼委員 佐藤(龍)委員 佐々木委員  
佐藤(と)委員 若狭委員

## 1. 開会

森谷管理課長 : ただいまから、令和7年度第3回仙台市中央卸売市場再整備検討委員会を開会します。早朝よりお集まりいただきありがとうございます。私は、本日の司会を務めます、中央卸売市場管理課の森谷と申します。よろしくお願いいたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。

(配布資料の確認)

本委員会の成立について、板委員と庄司委員が欠席のため委員の出席者は8名となります。再整備検討委員会設置要綱第5条に定めず、委員会の成立に必要な過半数に達しておりますので、ご報告いたします。

ここからは西川委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

西川委員長 : 皆様おはようございます。会議を進めてまいります。本日は令和7年度3回目の委員会となり、前回の委員会から3か月が経過して基本計画を検討する最終局面を迎えておりますので、皆様の忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の委員会については、個人情報扱うことはありませんので公開とさせていただきますがよろしいでしょうか。

委員一同 : (了承)

西川委員長 : 議事録の署名人は岩沼副委員長にお願いできればと思います。

岩沼副委員長 : (承諾)

## 2. 議事

(1) 「仙台市中央卸売市場再整備基本計画中間案」に対するパブリックコメント結果について  
西川委員長 : それでは次第に沿って進行させていただきます。

議事(1) 「「仙台市中央卸売市場再整備基本計画中間案」に対するパブリックコメント結果について」、事務局より説明願います。

佐藤市場再整備 : 【資料1】【資料2】説明  
担当課長

西川委員長 : 以上のご説明を受けまして、何かご質問等がありますでしょうか。

委員一同 : (質問・意見無し)

西川委員長 : 無いようですので、次の議題に入ります。

議事(2) 仙台市中央卸売市場再整備基本計画(最終案)について、事務局より説明願います。

(2) 仙台市中央卸売市場再整備基本計画（最終案）について

佐藤市場再整備 担当課長 : 【資料3】【資料4】【資料5】説明

担当課長

なお、今後、パブリックコメントの結果について市議会に報告を行い、市役所内部の必要な決裁を経て、令和7年度中に再整備基本計画の策定を見込んでいます。

当委員会設置要綱に基づき、委員の皆様の任期は再整備基本計画策定日までとなっています。策定が完了しましたらお知らせさせていただきます、計画冊子を配付させていただく予定です。

西川委員長 : ありがとうございました。

再整備基本計画（最終案）17 ページから再整備ローリング計画において、中央部の立体駐車場の一部に関連とありますが、この関連は何を指していますか。

佐藤市場再整備 担当課長 : 関連事業者は主には管理棟関連棟に入居しますが、一部の機能を立体駐車場1階に配置する計画としています。

西川委員長 : 再整備事業では市場関係者の負担を減らすことが重要ですが、その一環として、余剰地を活用した賑わいの創出があると思います。

25 ページでは余剰地を活用した賑わいの創出について記載されていますが、29 ページでは関連棟及び余剰地へ導入する賑わい機能となっています。関連棟にも賑わい機能を導入する計画になっているように思います。可能であれば、25 ページについても関連棟と余剰地という記載にさせていただければと思います。

29 ページは今後の検討課題であり、設計でも活かされると思われませんが、前段の25 ページについても同様の内容にできるように合わせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

佐藤市場再整備 担当課長 : 賑わいについてはご指摘のとおり、余剰地だけではなく、管理棟関連棟にも一部導入できればと考えています。

具体的には設計段階で検討することになりますが、例えば、見学者への案内スペースや料理教室用スペースなどのアイデアもあります。

文言については調整させていただきたいと思います。

西川委員長 : ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

佐藤（龍）委員 : 都市計画法で定められている卸売市場内に賑わい機能を導入する場合、どの程度まで許容されるのでしょうか。法的な解釈により、規模や配置も変わってくるのではないのでしょうか。

佐藤市場再整備 担当課長 : 卸売市場は都市計画法上の都市施設という取扱いになります。基本的には市場機能が中心となります。そこに、物販機能等の賑わい機能をどの程度まで盛り込めるか、具体的な線引きには至っていません。都市計画関連の部署とも検討を進めていくことになりますが、設計段階で併せて検討していくことにしています。具体的な内容は設計の中で固めていくことになると思います。

余剰地の活用につきましても、再整備期間中に検討することになっています。賑わい機能も1つのアイデアとして考えていますが、その他、物流機能等様々な活用方法があると思いますので、併せて検討していきたいと考えています。

大沼委員 : 再整備基本計画とは別の話になりますが、昨年、水産物部として使用料体系の見直しについて要望させていただいています。

こちらについては、新しい市場となった段階で、新しい使用料体系として見直ししていくとの回答をいただいています。

今のところ仙台市場では、売上高割使用料が取扱金額に対して3.0/1,000と設定されていますが、他市場では2.5/1,000や廃止となっているところがあります。

佐藤市場再整備担当課長 : 使用料体系については見直しを検討いただいているのでしょうか。使用料のあり方について、売上高割使用料の料率は市場により異なり、市場によっては施設使用料に一本化されているところもあります。

将来の使用料について、設計段階でもできるだけ早い段階で事業費を固めて使用料も提示したいと考えていますが、具体的な使用料体系はこれからの検討になると思います。

本田委員 : 重要な課題であり、引き続き検討させていただきたいと思います。ここまでまとめていただきありがとうございます。使用料については、国等へも働きかけていただき、できるだけ仙台市の負担が少なくなるように検討させていただきたいと思います。

パブリックコメントで意見が出ていた以外の観点で、仙台市場がどのような場所なのか仙台市民が理解いただけていないように思っています。工事までの期間に旧市場を市民の方に見ていただく市場まつりを開催いただき、仙台市場が担ってきた役割や新市場の再整備に関する計画等を市民に知っていただく機会があっても良いと思います。

ここから3~4年の間に実施を検討させていただきたいと思います。場内事業者としても精いっぱい協力させていただきたいと思います。

佐藤市場再整備担当課長 : 市場再整備事業に対するご理解も重要ですが、市場の役割を広く市民の方に知っていただくことも重要だと考えています。アピールの方法を考えていきたいと思います。

市場の役割をご理解いただくためのイベントなども市場関係者と相談させていただきながら検討していきたいと思います。

若狭委員 : 10ページにダイバーシティという文言があり、初めて聞きました。今後の施設のあり方を検討していくと記載がありますが、例えば、どのような施設のあり方を検討していくのでしょうか。

佐藤市場再整備担当課長 : ダイバーシティは、例えば、市場内でも障害のある方に働いていただくことがあります。市場内は段差が多く、車いすでの移動が難しい場所も多数あります。青果棟にはエレベータもなく、上下の移動が難しい状況です。

新しい施設になりましたら、移動に関する制限がなくなることで、誰もが使いやすい施設とすることが中心となります。

段差の解消やエレベータの設置等の配慮により、皆さんに使いやすい施設とすることを考えています。

若狭委員 : 体の不自由な方が移動しやすいようにエスカレータやエレベータを施設に盛り込むことは考えられるのでしょうか。

佐藤市場再整備担当課長 : エレベータは複数階の建物には設置することになると思います。エスカレータは必要性の検討結果によると思われます。

移動の制約がなるべく無い施設にしていきたいと考えています。

佐々木委員 : 防災危機管理機能の観点から、仙台市場の一部は浸水想定区域と記載があります。何らかの津波対策を考えられているのでしょうか。

佐藤市場再整備担当課長 : 浸水想定区域は津波ではなく大雨の想定となっています。対策は今後検討していくこととなります。

佐々木委員 : 市場としてのBCP（業務継続計画）は策定されているのですか。

佐藤市場再整備  
担当課長 : 市場としての災害時の対応は当然ありますが、BCP の形としては策定しておりません。市場再整備と併せて検討していきたいと考えています。

佐藤（と）委員 : 1つ1つ対策が取られているようですので、特に、意見はないのですが、食につながることで、市場関係者にとって仕事がしやすいことが重要だと思います。

消費者と生産者、市場関係者が一緒になり、仙台市や宮城県、東北一帯が仙台市場を通して元気になれるように再整備を進めていただきたいと思います。

岩沼副委員長 : 佐藤（と）委員の言葉に尽きると思います。再整備を進めるにあたり、難問が生まれた時にはみんなで相談しながら新市場を整備していくことが重要だと思います。再整備を頑張っていきたいと思います。

西川委員長 : ありがとうございます。

これまで何度も賑わいの話をさせていただいています。それは、事業者負担軽減や仙台市にとっての観光拠点整備にとって重要だと考えているからです。

25 ページの周辺環境について、工業団地跡地はアウトレットが整備される構想があり、周辺の大型商業施設も含めて活性化させることが重要だと思います。

可能であれば、周辺の関係者も集めて協議会を設置することも重要なのではないかと思います。

経済局だけではなく、都市整備局や文化観光局、まちづくり政策局等横の連携も取らなければならないと思います。部局を超えて検討していかなければならないと思います。

市場関係者にとって再整備期間中は大きな負担になることが考えられますので、負担が軽減できるような取組みを検討いただければと思います。

本日の意見をもって、再整備基本計画を完成させていただければと思います。

議事（2）は以上となりますが、その他何かありますか。

### 3. その他

佐藤市場再整備  
担当課長 : 基本計画段階でのイメージパースができておりますので、ご覧いただきたいと思います。

具体的な内容は来年度以降の設計で固めていくこととなりますが、完成後の市場をイメージいただければと思います。

安井建築設計事  
務所・杉野 : イメージパースについて説明

西川委員長 : 以前にも申し上げましたが、正門のほかに、国道4号を上手く活用できないかと思っています。大型車両の出入や観光客のアクセスなども視野に入れて検討いただければと思います。上手く活用できれば、もっと活性化できるのではないかと思います。

若狭委員 : イベントなどが行われる際、屋内・屋外のいずれで実施される想定なのでしょうか。

佐藤市場再整備  
担当課長 : 規模にもよりますが、取引先向けのプロモーションは卸売場内で実施することになると思います。一方で、市場まつりのような大規模イベントは屋外を活用することになると思います。

イベント専用スペースを準備することはありませんが、駐車場も活用しながら、イベントを開催していくことになると思います。

西川委員長 : 本日の委員会をもって再整備基本計画を完成させていただくこととなりますので、よろしくお願ひいたします。

予定された議事については、これを持ちまして終了となります。

本日が最後の委員会となりますので、最後に委員の皆様から、これまでの感想や期待など、お一人ずつお話をいただきたいと思います。

はじめに、本日は欠席でした板委員と庄司委員からコメントをお預かりいただいているとのことですので、事務局からお願いします。

高橋市場再整備 : 本日欠席である板委員からのコメントを代読させていただきます。

室長 : これまでの委員会におきまして、場内事業者の皆様からご意見をいただき基本計画に反映できたことを嬉しく思っています。

賑わいにつきましても、工事に着手した後、具体的に検討いただくことになっており、引き続きの検討をお願いしたいと思います。

次に、庄司委員からのコメントを代読させていただきます。

この度は再整備検討委員会の最終開催という大変重要な会に出席することができず申し訳ありません。約3年間にわたる検討の中で私が一貫して願ってきたことは、中央市場が本来の役割をしっかりと果たし続けることです。市民の台所を担う施設として、安心、安全、安定供給の機能が今後さらに高い次元で維持・向上される市場再整備でなければならないと考えています。

加えて、この市場で日々働く卸売業者・仲卸業者をはじめとした関係者が、公平かつ平等に意見を述べられる風通しの良い市場であり続けることを強く願っています。

時代の変化に柔軟に対応しつつも、いつの時代になってもこの中央卸売市場が果たすべき大切な機能を守り続けることが必要なのだと強く感じています。

これから未来に向けて市民の皆様から選ばれ続ける市場となることを目指して、私どもも引き続き努力してまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上となります。

西川委員長 : ありがとうございます。

それでは、名簿順で、本田委員から順に一言ずついただければと思います。

本田委員 : 将来を託す市場で働くみんなが働きやすい環境を整えていただけることに感謝申し上げます。

食を通じて地域社会の人々を支えるという卸売市場の役割を果たすこと、卸売市場が持つ情報力や流通機能を最大限に活かして、食文化の普及と地域社会に貢献するという2点について、仙台市場からの発信で取組んでいきたいと思っています。頑張っていきたいと思っています。

大沼委員 : 水産物部では20歳代~40歳代の若い世代、15年後市場を使用する若い世代を選抜して会議に出てもらえるようにしています。若い世代が必要とする施設を整備していきたいと思っています。

佐藤(龍)委員 : 3年間ご苦労様でした。食の流通が年々変化する中で中央市場の役割が食の安定供給における基地として、今後も無くなることはないと思います。部門ごとに協力を図りながら、引き続き、仙台市民のみならず、宮城県や東北の中心である市場として、活躍できる市場を再整

備していくことでまとまったと考えています。

少しずつ手直ししながら、皆さんと協力しながら進めていけば、良い市場ができると思います。よろしく願いいたします。

佐々木委員 : お疲れ様でした。産地市場からすると仙台市場は東北の雄であり、ハブ市場です。これから再整備に時間は掛かるものの期待しています。仙台市場が活発になれば、地方の産地から益々商品が流通することになりますので期待が大きいです。仙台市の皆さんも真面目にスマートに会議資料等を準備いただきありがとうございました。

魚食や野菜の観点で、NHK では旬の魚に関する番組を必ず放送されている。あのような番組を通じて、仙台市の台所として、活発な情報発信をお願いしたいと思います。

佐藤（と）委員 : 3年間検討メンバーとして参加させていただきました。近隣農家が安心して生産したものを近くの仙台市場に出荷し、少しでも良い値段で取引され、消費者にも喜ばれる立派な野菜を生産したいとつくづく思いました。

仙台市も昔からの市場を大事に使われてきたと思います。

東北全体からも全国からも野菜等が集まってくるとは思いますが、市場関係者の皆さんにはこれからも頑張ってお客のために商品を集荷・販売していただきたいと思います。

私も頑張ってお客等を生産していきたいと思ひます。今後もよろしくお願いいたします。

若狭委員 : 3年間勉強させていただきましたありがとうございました。消費者からのお願いとして、車時代とはいえ、アクセスが重要だと思ひます。消費者や市民の方が来やすい、市場に行けば普段食べられない魚や野菜が手に入ると思えば喜んで来られると思ひます。ありがとうございました。

岩沼副委員長 : ここまで来るのはあつという間でした。これから10数年間、新市場を見られるように頑張っていきたいと思ひます。

先ほどの映像で見ると限りはイメージどおりの市場が出来上がれば大変すばらしい施設になると思ひます。

ただ、仙台市の皆さんはご理解されていると思ひますが、発泡スチロールや生ごみ、不法投棄等の問題解決に取り組んでいかなければならないと思ひています。

西川委員長 : 3年間ありがとうございました。

仙台市の中央卸売市場は非常に重要な施設だと思ひます。市場としての機能はもちろんのこと、仙台市として観光地としたいという思ひもあると思ひます。この地域を活性化させることが仙台市の観光産業にも役立ち、市場関係者の負担軽減にもつながることが重要だと思ひます。

また、仙台市場は東北地方のハブ市場です。首都圏とのつなぎ役にもなり、東北各地への供給源にもなると思ひます。

輸出産業の拠点にしたいという思ひもあります。人口減少に伴い、市場は海外にあるため、宮城県あるいは東北地方の生産物を輸出するための1つの拠点にもなるだろうと思ひます。HACCP も取り入れており、国際的な基準にも従っていくことになると思ひますので、是非とも実行いただきたいと思ひます。

さらに、昨今、AI が浸透しています。4～5年先には時代が変わっていると思います。AI の活用も念頭に基本設計を進めていただきたいと思います。

再整備事業は緒に就いた段階ですが、基本設計を進めるにあたり、様々なご意見が出ていたことを思い出していただければと思います。

3年間ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお戻しします。

#### 4. 閉会

森谷課長

: ありがとうございました。

なお、議事録の作成が終わり次第、議事録署名人の西川委員長と岩沼副委員長にご署名をお願いいたしますので、その節はよろしく願いいたします。

最後に、再整備検討委員会の閉会にあたりまして、経済局次長兼市場長の西崎よりご挨拶を申し上げます。

西崎市場長

: 委員の皆様におかれましては足掛け3年間という長い期間にわたりありがとうございました。

おかげさまで持ちまして再整備基本計画の策定までこぎつけることができました。

これから基本設計に着手することになります。西川委員長をはじめ多くの委員からご意見・ご要望をいただいています。

私も市場に来て3年目になりますが、市場の役割を理解すればするほど、再整備基本計画は老朽化対策だけではなく、時代の要請や変化に対応していかなければならないことを痛感しています。

東北の拠点市場として仙台市民のみならず東北全体に対して持続的に食料供給を果たしていく必要があります、そのために機能強化を進める必要があります。

また、仙台市民の方々に愛される、親しまれる市場となることで地域の核として賑わいにつながっていく市場にしていきたいと思えます。

引き続き、皆様からご指導・ご鞭撻をお願いできればと思います。

最後になりますが、委員の皆様には3年間お疲れ様でございました。ありがとうございました。

森谷課長

: 以上をもちまして、令和7年度第3回仙台市中央卸売市場再整備検討委員会の一切を終了いたします。

本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

以上

令和 8 年 3 月 2 日

仙台市中央卸売市場再整備検討委員会委員長

西川 正久

仙台市中央卸売市場再整備検討委員会副委員長

岩沼 徳衛